



桃井第一小学校

桃井第一小学校
(3390)3178(代)

No. 670

令和4年 12月号



多様性を認めるとは

校長 高橋 浩平

11月の学校公開、多くの保護者の皆様にご参観いただきました。どうもありがとうございました。コロナがまた流行ってきているようです。引き続き感染予防にご留意いただけたらと思います。

さて、杉並区教育ビジョン2022では、「一人ひとりが教育の当事者として心がける視点」の一つとして「ちがいを受け入れる」と書いています。そこにはこのように書かれています。

自分にとって当たり前であることが、必ずしも他者にとっても当たり前であるとは限りません。私たちは、他者への想像力を働かせて、自分とは異なる思いや考えがあることに思いをめぐらせることによって、さまざまなちがいや特性を超えて、互いに認め合い、受け入れ合うことが大切です。ちがいを受け入れる経験を重ねることで、社会はちがいの認め合いと受け入れ合いの中で成り立ち、自分の居場所がそこにあるという気付きや安心感に支えられ、互いに尊重し合う関係づくりへの一歩を踏み出すことにもつながります。

(杉並区教育ビジョン2022)

共生社会、多様性を認め合う、ということは大切なことです。本校の学校経営の柱の一つ、インクルーシブ教育もまた「排除しない教育」として多様性を認め合うことをベースにしています。

ただ、「多様性を認め合う」というのはなかなか難しいことでもあるなあ、と日々実感しています。ある研修会で講師の先生からこんなことを言われました。「授業態度は悪いけどテストをすれば全部100点の子と授業態度は良いけどテストは毎回0点の子がいたら、どうですか？」これほど極端なことはないと思いますが、「宿題はできるからやりません」「授業は聞かなくても

わかるからサボります」という子どもたちの思いに「とにかく宿題はやりなさい」「授業は受けなさい」というだけでは納得は得られないと思っています。

このように、価値観が多様化している現在、思いがぶつかることも少なくありません。そのときに、「相手はそう思っているんだな」ととりあえず認め合えるのかどうか、大人の世界でもなかなか難しいことのように思います。一般的に「共生社会は大切」「多様性を認め合うことは大切」といいますが、「嫌いな人と一緒にいれるか」「嫌いな人と一緒に活動できるのか」と言われると、「わかっているけど難しい」となるのではないのでしょうか。

「子供たちにしあわせな人生を送ってもらいたい」ということは先生も保護者も地域も一致できることだと思います。杉並区教育ビジョン2022のスローガンも「みんなのしあわせを創る杉並の教育」です。ただ一人ひとりのしあわせは異なります。「誰かのしあわせは誰かのふしあわせ」ということも出てくることでしょう。「そのことがしあわせだとは思えない」という見方の違いもあることでしょう。そうしたことを考えれば考えるほど「多様性を認め合う」ということはそんなに簡単なことではない、と思っています。それでも解決のカギは「対話」だと思っていますので、丁寧に子どもたちと「対話」をしていきたいと思っています。2学期も残り1か月、どうぞよろしくお願いします。

※今年度も教育調査の時期がやってきました。お手数ですが、教育調査のご回答をどうぞよろしくお願いします。

12月の生活目標 「学校をきれいにしよう」

桃一小では、感染対策のため、放課後にグループを分けて清掃を行っています。自分たちが使う教室はもちろん、廊下や靴箱も清掃しています。また、4年生以上の学年は音楽室や図工室など専科の教室、体育館などみんなが使う場所も担当しています。

12月の生活目標は「学校をきれいにしよう」です。ゴミが落ちていたら拾う、自分から進んで掃除をするなど、当たり前のことですが、しっかりと身に付けることができるよう指導していきます。そして、子供たちが自分たちで掃除をし、気持ちよく学習、生活できる環境を整えていけるようにしていきます。

2学期も残りわずかです。一年間の汚れをすっきり落として、気持ちよく冬休みを迎えることができるようにしていきます。

後期委員会の委員長より

桃一小には12の委員会があります。後期委員会の委員長に抱負を聞きました。

代表 SDGsを中心として、地球にやさしい取り組みをしながら、明るく、楽しい、わくわくする桃一小を目指します！	運動整備 運動整備委員会って何をするのか？「わくわくする桃一小」を目指して、楽しい企画をみなさんに届けたいと思います。	放送 初めての委員長で緊張しますが、「楽しくて面白くて笑顔になる」そんな放送にしたいです。
音楽 5年生にバトンタッチするまでの間、綺麗な音楽を届けられたらいいと思います。よろしくお願いします。	保健 みなさんの健康を守るように、5・6年生で団結して頑張ります。よろしくお願いいたします。	掲示 掲示委員会では主に、季節に合った掲示物を作って、掲示するなどの活動をしています。ご期待ください。
集会 みんなが楽しめる集会を企画し、「わくわくする桃一」に近づいていきたいです。委員長として頑張ります。	図書 図書委員会は、2回目なので、みんなが分からないことがあったら教えて、頼りになるような人になりたいです。	理科環境 理科環境委員会では、花の水やりや魚のエサやりをえています。委員長として頑張りますので、よろしくお願いします。
新聞 「わくわくする桃一」にするために、皆が笑顔になることができ、暮らしに役立つ新聞を作っていきます。	給食 給食委員会では、完食賞を届けます。4時間目に「給食まだかな…」と思えるような活動をするために頑張ります。	美化 委員長として、5年生を引っ張っていきます！美化委員では、掃除用具の点検をしています。頑張ります！





伝統文化授業・地域との連携

10月から11月にかけて、各学年で伝統文化の授業を行いました。1年生は「昔遊び」、2年生は「折り紙」、3年生は「井草ばやし」、4年生は「阿波おどり」、5年生は「落語」、6年生は「百人一首」を体験しました。伝統文化の授業は、例年、学校支援本部に地域から人材を探してもらい、講師として来ていただいています。子供たちにとってより豊かな学びになるように、講師の皆さんと教員、学校支援本部で事前に打ち合わせを行って、当日の授業に臨みました。子供たちからは、「伝統文化についてもっと知りたい。」「またやってみたい。」といった感想が出ました。

本校は、これまでも地域の方々からさまざまな形で協力を得ながら学校運営をし、教育活動を行って来ました。これからも地域と学校が協力・連携して、子供たちの学びを支えていきます。

(教務部 伝統文化授業担当)



たてわり班

たてわり班活動では、6年生が企画立案をし、他学年と一緒に遊ぶ交流をしています。その中で、今年は「わくわくするたてわり班」をテーマに話し合い、どのようにすれば下級生と一緒に楽しい交流の場がつかれるかを考え、工夫した取り組みを行っています。

例えば、「みんなを名前で呼ぼう！」です。下級生との関係づくりに向けて、目線を合わせながら名前を呼び、コミュニケーションができるように意識しています。名前を覚えることでお互いの距離感も一気に縮まり、仲良くなれると子供たちも実感し、取り組みは大成功でした。他にも、全員が楽しめる遊びの工夫や、アイスブレイクのためのミニゲームの発案など多くのアイデアが子供たちからたくさん出てきます。

6年生は、たてわり遊びの前後で打ち合わせを行い、良かった点や課題を共有して次回に生かそうと努力しています。今後も6年生を中心に子供たちが試行錯誤しながらつくる「わくわくするたてわり班活動」を実現できるよう支援していきます。

(特別活動部 たてわり班担当)

